

SID R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第1巻第14号

第27週(7月2日～7月8日)

発行年月日:平成13年(2001年)7月13日
 発行:滋賀県立衛生環境センター内
 滋賀県感染症情報センター
 電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (27週)	累積報告数 (1週～27週)
1類感染症	報告なし	-	-
2類感染症	細菌性赤痢	0	2
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	23
4類感染症	アメーバ赤痢	0	3
	急性ウイルス性肝炎	0	2
	後天性免疫不全症候群	1	3
	ジアルジア症	0	1
	梅毒	0	1

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数		
	27週	増減	21～26週の平均
インフルエンザ	0		0
咽頭結膜熱	1.56		0.96
A群溶連菌咽頭炎	0.31		0.49
感染性胃腸炎	1.15		1.74
水痘	0.96		1.43
手足口病	0.33		0.24
伝染性紅斑	0.35		0.22
突発性発疹	0.23		0.37
百日咳	0		0.01
風疹	0		0.02
ヘルパンギーナ	4.71		1.28
麻疹	0.1		0.25
流行性耳下腺炎	0.98		0.93
急性出血性結膜炎	0		0
流行性角結膜炎	0.43		0.86
急性脳炎	0		0.02
細菌性髄膜炎	0		0.02
無菌性髄膜炎	0.14		0.17
マイコプラズマ肺炎	0.43		0.24
クラミジア肺炎	0		0
成人麻疹	0		0.02

* 増減は、21週～26週の平均に対する今週との比較
 増加 減少 変化なし

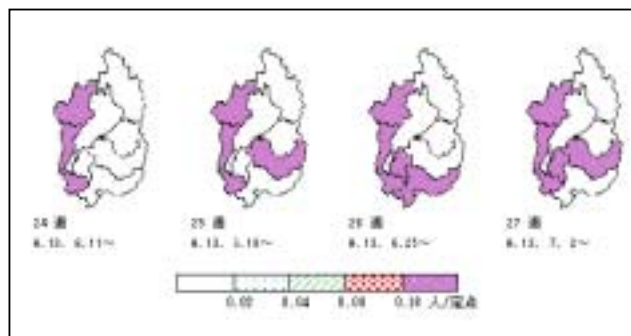
* **太字**は、今週の注目される疾患です。

3) 今週のトピックス

患者情報

滋賀県における定点当たり患者数について、21～26週の平均と27週を比較すると、咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナ等に増加傾向が見られます。咽頭結膜熱とヘルパンギーナの増加は著明です(2～3ページのグラフ参照)。特に咽頭結膜熱は、本格的なシーズンに向けて全国的に増加中です。都道府県別では定点当たり報告数が滋賀県1.5、青森県、愛知県各0.6となっています(IDWR2001年第3巻第25号より)。

咽頭結膜熱の地域分布(滋賀県)



病原体情報

咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス(2001年1月～6月)

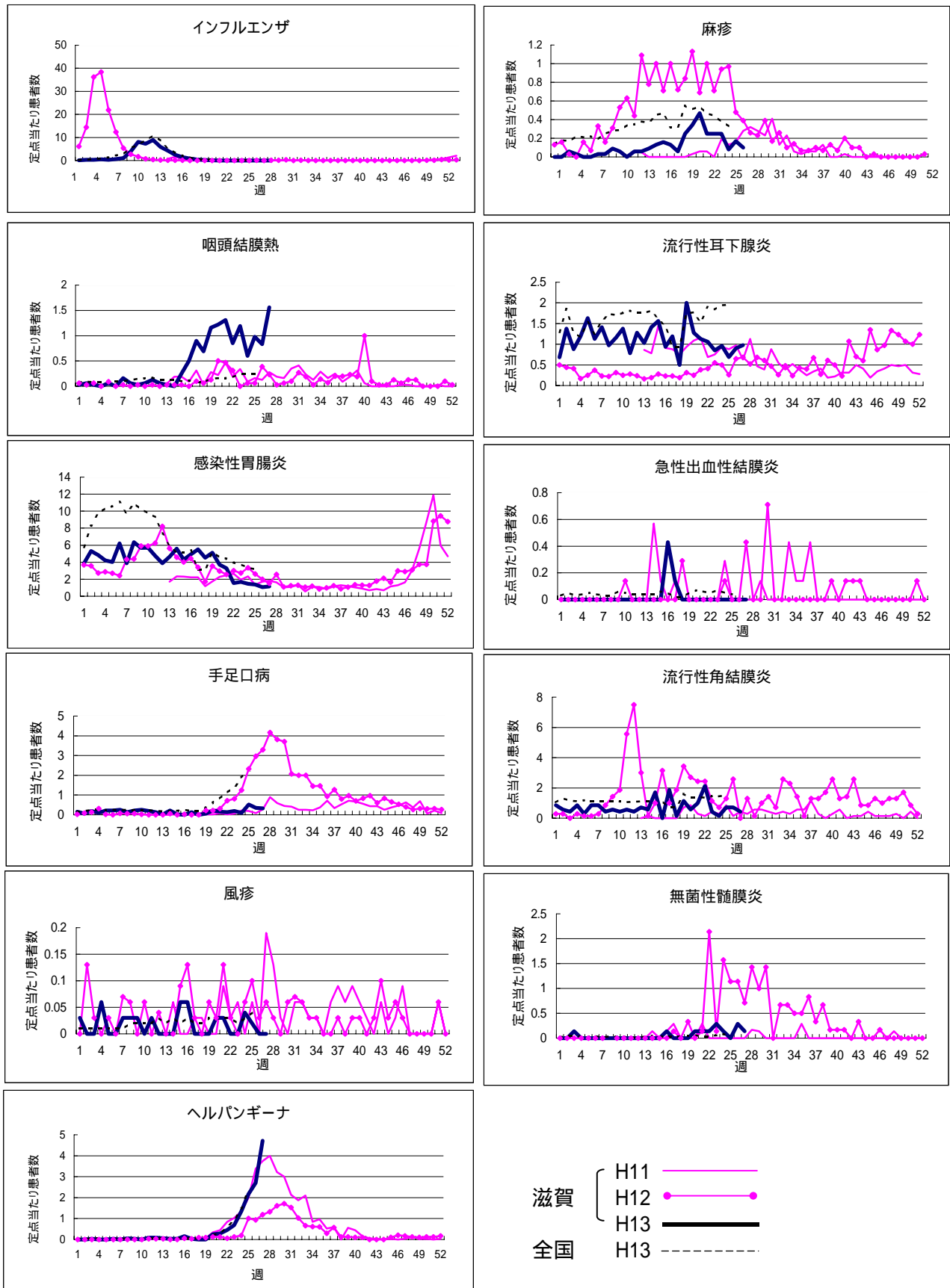
アデノウイルス3型 報告件数(全国)50件のうち滋賀県からの報告件数は、3件です(IDWR2001年第3巻第25号より)。



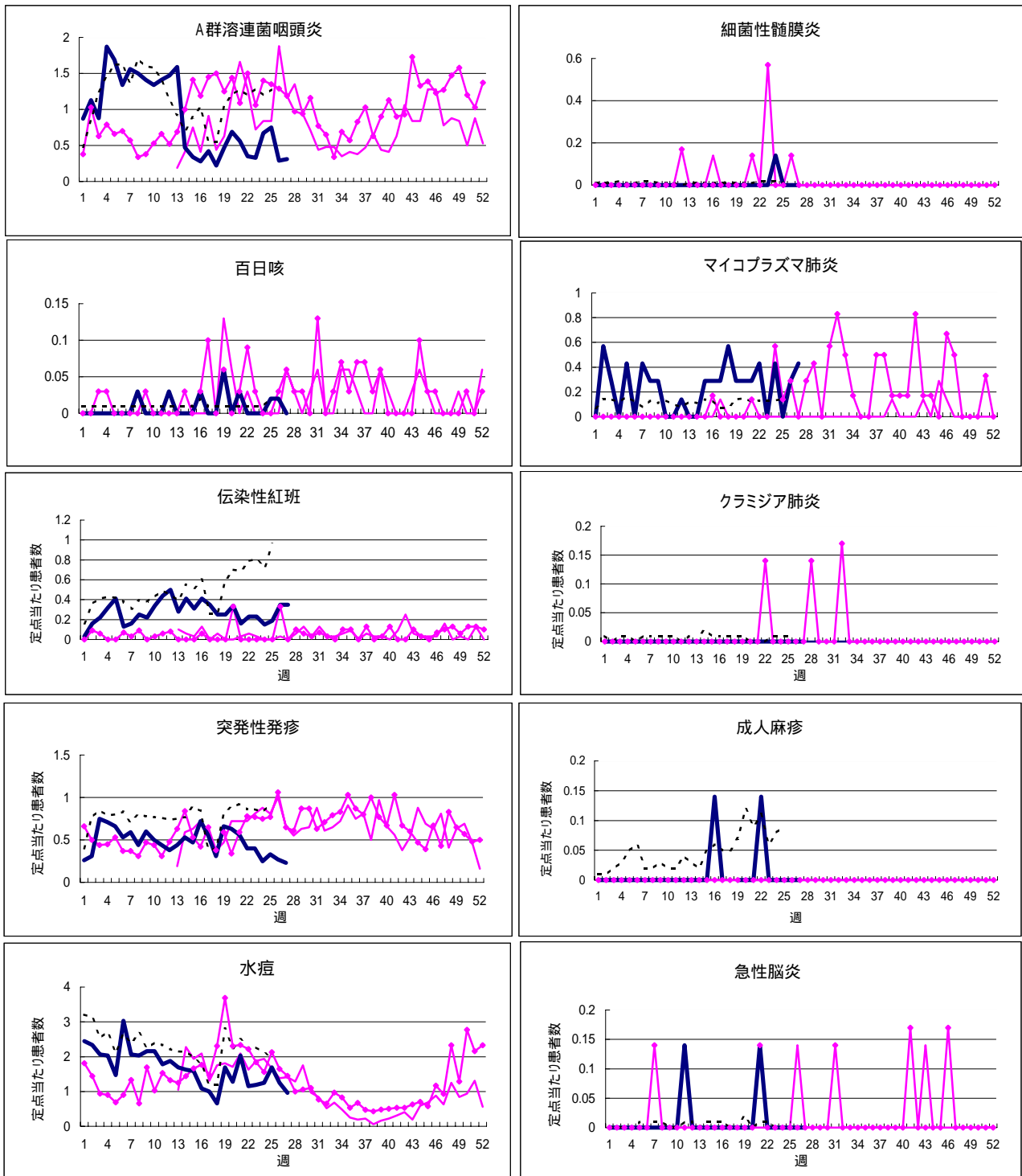
全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**において公表されています。

(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

疾病別定点当たり患者数(平成13年第1週～第27週)



疾病別定点当たり患者数(平成13年第1週～第27週)



滋賀 { H11 ————
 H12 ●————●
 H13 —————
 全国 { H13 - - - - -